

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2024 年 2 月 15 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」和歌山小雑賀校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			パーティションやホワイトボードなどで空間を作り出す事で、利用者数や利用者様に合わせてスペースを確保している。
	②	職員の配置数は適切であるか		○		法令で定められた定員数ではある。ただ、利用者様からのご希望に沿う形での支援提供が出来るほどの人員確保がなされていない現状もある。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		入口が少し狭い事もあり、完全なバリアフリーとまでは行かないが、安全に配慮された空間ではある。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			朝礼などでの情報共有を通じて、参画している
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			事業所評価は年に1度必ず取り組むほか、定期的に開催されている小集団イベント後のアンケートや、毎回支援後の振り返りを行う事で、保護者様等の意向を把握して、業務改善に繋げている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公開すると共に、事業所内に張り出し、保護者様等の目に触れる所に開示している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			第三者による外部評価は行っていないが、事業所関係者以外での社内の評価は行い業務改善に努めている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月1回以上、社内での研修に参加する事で、資質の向上に努めている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			半年に1度モニタリングを行うと共に、年に1回はアセスメントを行い、利用者様の現状を把握した上で作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			社内で統一されたアセスメントツールを用いて、利用者様の現状の理解に努めている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			一人ひとりの利用者様に、複数の職員が関わる事で、チームで立案を行う事が出来ている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		固定化されたプログラムを好む利用者様も居る中で、その時の様子や成長に合わせてプログラムを立案するなど、工夫をしている。

	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		個別での支援になるため、その時の利用者様の状況や、保護者様からの情報共有を基にきめ細やかに設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		基本的には個別支援にはなるが、利用者様の状況に合わせて、他児との交流を取り入れたり、小集団イベントを企画、開催したりするなどの内容を計画に組み入れている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝礼にして担当支援や支援内容を確認するなどしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		支援終了後は、次の支援の日までには次の担当職員に引継ぎや情報共有をすると共に、事業所内職員に周知するためのツールを用いて、文章に残すなどして共有をしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎回支援記録を必ず作成し、支援内容の改善に繋げている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		半年に1度は必ずモニタリングを行うと共に、支援内容の見直しが必要と判断されたときには、その都度職員同士で検討したり、保護者様に相談したりすることで、判断している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		ガイドラインの総則を確認し、保護者様らかのご要望や利用者様の状況を踏まえた上で、複数組み合わせた支援を心掛けている。
関係機関や保護者との連携関係	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	○		相談支援事業所とは、定期的に電話で情報共有を行っており、サービス担当者会議には、出来る限り担当職員全員が参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		学校と直接情報共有をする時もあるが、保護者様や利用者様から情報共有をして頂く事が多い。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		医療的ケアが必要な利用者様はいませんが、必要があれば医療機関との連携も行っている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		現在該当する利用者様はいませんが、保護者様からのご要望があれば、適宜行う事を検討している。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		現在該当する利用者様はいませんが、保護者様や他事業所からのご要望があれば適宜行っていく事を検討している。

護 者 と の 連 携	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		専門機関との連携を行うと共に、社内での専門機関が主催する研修に参加する機会が月に1回程度ある。
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	個別活動が主である為、現状実施が難しい。
	②⑦	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	○		参加通知がある場合には、児発管が主に参加している。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		支援後には、保護者様へ支援内容を伝えたり、事業所以外での様子の情報共有を行ったりする中で、共通理解を図っている。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	トレーニングとまでは至っていないが、支援後には都度保護者様からお話を聞かせて頂く事に対して助言を行っている。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明を行うと共に、毎月請求書をお渡しする際にも確認を行っている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者様からご相談があった際には、都度職員間で情報共有を行い、必要な助言と支援を行っている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者会等の開催までには至っていないが、保護者様同士の連携としては、支援時間内に同時刻に支援をしている保護者様同士で情報共有が出来る様な場所を提供しているなどして、保護者様同士の交流の場を設けられている。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		保護者様からのご相談、ご意見に関しては、迅速かつ丁寧に対応をしている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月おたよりを配布しており、その中で毎月行っている防災訓練の内容や、連絡事項などを掲載していると共に、毎月2回程度公式LINEを用いて情報を送信している。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○		鍵付き書庫にて個人情報を保管している。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		保護者様や利用者様には、わかりやすい言葉選びを徹底すると共に、常日頃から他愛ない会話を行う事で、どんな些細な事でも話しやすい環境を整えている。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	個別支援が主である為、実施が難しい。
非 常 時 等 の	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		緊急マニュアルは校舎内に掲示していると共に、契約時に周知している。また、毎月の防災訓練を実施すると共に、毎月配布のおたよりに内容を掲載している。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		毎月防災訓練を行い、その都度利用者を守る手立てとして話し合いを行っている。

対 応	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		事業所内で虐待防止委員会を設置していると共に、毎月虐待防止のための話し合いを重ねている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		重要事項や個別支援計画に掲載し、保護者様には契約時に説明を行っている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	基本的に食べ物の提供は行っていないが、利用者様のアレルギーについては、保護者様からの聞き取りにより把握している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	ヒヤリハット事例集とまでは行かないが、事故や危険の可能性を感じた時には、事前に職員間で相談・検討・共有をしている。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」和歌山小雑賀校

保護者等数（児童数）：58 回収数：47 割合：81 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	46	1		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	44	3		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	23	24		
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	47			
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	45	2		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	25	15	
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	47			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	47			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	45	2		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12	25	10	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	36	11		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	47			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	44	3		
	⑭	個人情報に十分注意しているか	47			

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	43	4		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	37	9	1	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	37	9	1	
	⑱	事業所の支援に満足しているか	47			

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。